

血液内科

《概要》

血液部門は以前より日本血液学会研修施設として大阪府南部のセンター病院としての機能を果たしてきたが、平成 21 年度は常勤スタッフが 4 月には 2 名、5 月以降は 1 名と減少したため、入院についての対応が困難な状況となった。外来については常勤医師 1 名に加え非常勤医師 2 名で行っており、外来化学療法や輸血も行っているが、入院が必要な患者の多くは他の血液専門施設へ治療を依頼しなければならない状況である。

平成 12 年 9 月よりは非血縁臍帯血バンクの、また平成 13 年 1 月よりは骨髄バンク指定移植施設および採取施設に認定され非血縁臍帯血移植、非血縁骨髄移植も増加していたが、これらの認定施設としての機能も平成 21 年度より休止せざるをえなくなった。平成 13 年 11 月 24 日より年 1 回の造血細胞移植を受けた患者さんとの交流会(ナイススマイルの会)を開催し、患者、家族、スタッフが集まり交流を深めているが、本年度も 100 名近くが集まり、早期に移植施設機能の復活を希望する意見が出された。

《業績》

(1) 原著、総説、著書(2009.4~2010.3)

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	再発難治性の高齢DLBCL患者2症例に対するintermediate-dose melphalanを前処置とした複数回自家移植の経験	西本哲郎 畑中一生 松岡亮仁 上田宏次 米谷 昇 玉置俊治	臨床血液	50(12)	1720-1724	2009

(2) 学会研究会報告(2009.4~2010.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	高リスクびまん性大細胞B型リンパ腫に対するRituximab併用化学療法後の upfront auto-stem cell transplantationの有効性の検討	中村文明 畑中一生 藤 重夫 金 義浩 西本哲郎 魚嶋伸彦 上辻由里 石山賢一 岡部賢寛 山村亮介 有馬靖佳 玉置俊治	第 32 回日本造血細胞移植学会総会	2010. 2. 20